

研究課題名	複数のポート配置に対応可能な腹腔鏡下手術練習ボックスの作成と、腹腔鏡下卵巣嚢腫摘出術に最適なポート配置に関する検討
研究体制	■長野赤十字病院が責任研究機関となる
研究責任者	当 院 所 属 <u>産婦人科</u> 氏名 <u>堀澤 信</u>
研究期間	(西暦) 2017年 3月 ~ 2018年 3月
研究の概要	<p>(研究の意義・目的)</p> <p>① 婦人科腹腔鏡下手術における代表的なポート配置である、ダイヤモンド式、パラレル式を含め、複数のポート配置を高い精度で再現可能な練習ボックスを作成する。</p> <p>② ①で作成したボックスを用いて、ダイヤモンド式、パラレル式いずれのポート配置が腹腔鏡下卵巣嚢腫摘出術に適しているのかを検討する。</p> <p>③ ①で作成したボックスを用いて、腹腔鏡初心者のダイヤモンド式、パラレル式それぞれのポート配置でのラーニングカーブの差を検討する。</p> <p>(研究方法)</p> <p>① ダイヤモンド式、パラレル式それぞれのポート間距離を測定し、そのデータを元に練習ボックスを作成、再現性の評価を行う</p> <p>② ダイヤモンド式、パラレル式それぞれで行った腹腔鏡下卵巣嚢腫摘出術の手術動画を後方視的に検討し、手技の速さなどを比較する</p> <p>③ ダイヤモンド式、パラレル式いずれかでの 10 日間の練習記録から、縫合結紮タイムトライアルのラーニングカーブを作成する。</p>
研究対象者	<p>当院において 2014 年 7 月から 2015 年 8 月までに次の腹腔鏡下手術を行った症例及び、2016 年 4 月から 2017 年 3 月までに産婦人科研修を行った研修医 17 名。</p> <p>① ダイヤモンド式、パラレル式ポート配置で行った腹腔鏡下手術で、ポート間距離の測定を行ったもの各 5 例</p> <p>② ダイヤモンド式、パラレル式ポート配置で行った腹腔鏡下卵巣嚢腫摘出術各 8 例</p> <p>※当研究に自分の情報を使用してほしくない場合は下記のお問い合わせ先までお申し出ください。</p>
個人情報保護の方法	<input type="checkbox"/> 匿名化しない <input checked="" type="checkbox"/> 連結可能匿名化 (研究②、③) <input checked="" type="checkbox"/> 連結不可能匿名化 (研究①) <input type="checkbox"/> その他 ( )

お問い合わせ先

〒380-8582

長野県長野市若里五丁目2番1号

長野赤十字病院

所属 産婦人科 氏名 堀澤 信

TEL : 026-226-4131 (代表)

FAX : 026-228-8439